

地域経済動向分析

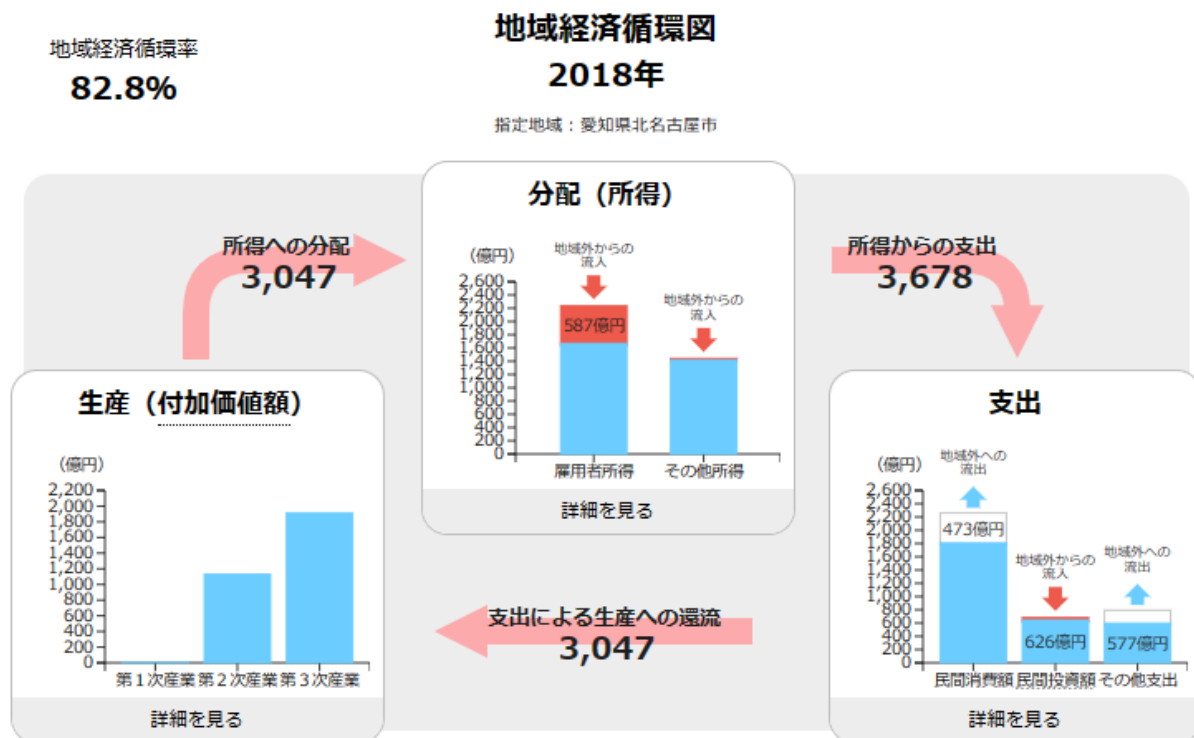
経営発達支援計画（令和 4 年 3 月 18 日付認定）に基づき、国が提供する地域経済に係る様々なデータを見える化（可視化）したシステム「RESAS（リーサス）」を活用し、北名古屋市の客観的なデータによる管内の経済動向を分析・公表することにより、今後、地域内の小規模事業者が事業展開を行う上での参考指標とする。

1. 地域経済循環マップ（生産分析）

地域経済循環マップは、経済を「生産」→「分配」→「支出」→「生産」・・・という循環する流れと捉えることができるが、特に地域経済においては、循環途中に生じる地域外との流出入が重要となる。地域経済の循環の流れを太くすることは、地域経済の発展につながる。具体的には、市内で生産した商品を市外へ販売することなどを増やすことである。一方で、市外で生産された商品を市内で購入することや市内で稼いだ所得を外に出すことを減らすことも重要である。

北名古屋市の経済構造は「ベッドタウン」の特徴がある。地域経済循環図を分析することで、地域における経済構造の特徴を掴むことができる。分類は「政治経済中心都市」「製造業都市」「観光都市」「ベッドタウン」の 4 つがあり、例えば製造業都市の場合は地域経済循環率が高くなり（100%以上）、ベッドタウンの場合は低くなる。また、観光都市の場合は「地域外からの流入」が高くなる。

北名古屋市の地域経済循環図は、以下の図のとおりである。

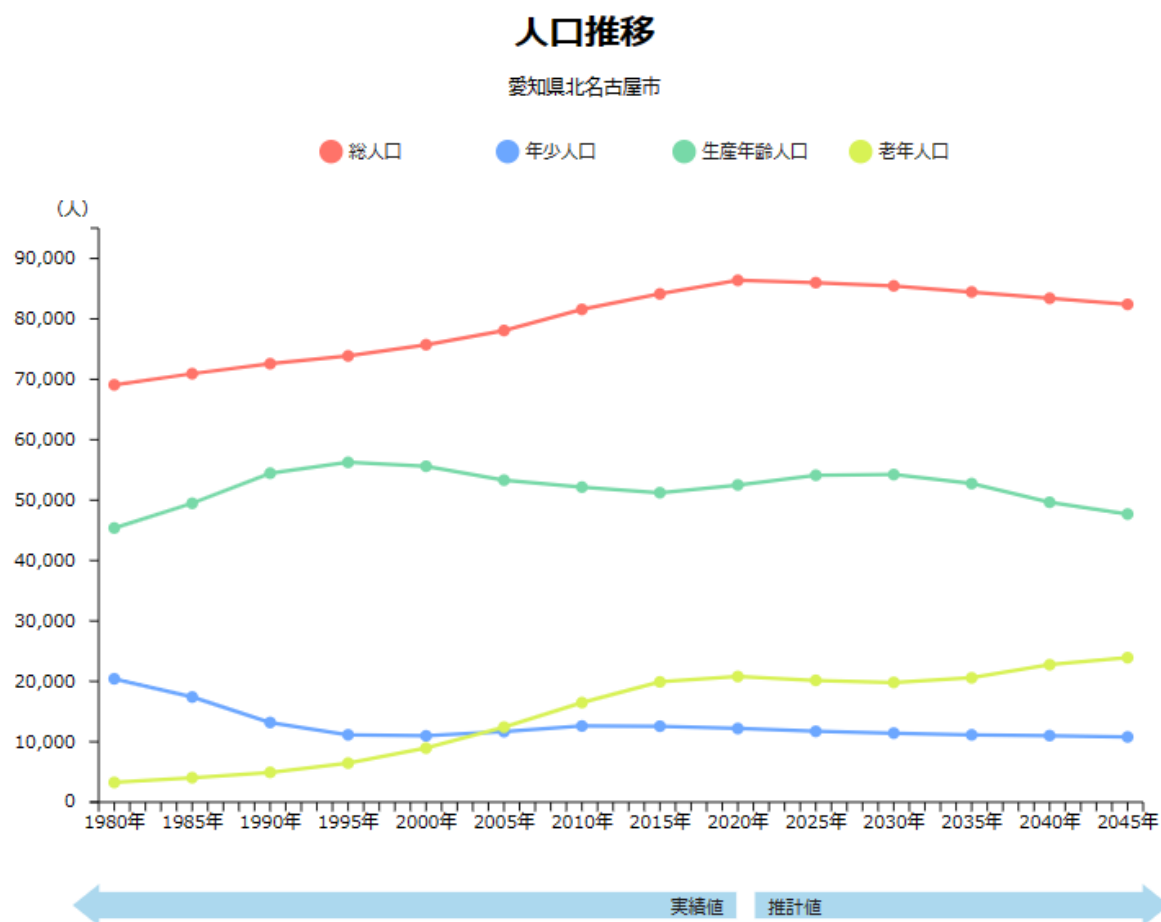


【地域経済の構造】

北名古屋市の地域経済循環図では、所得への分配 3,047 億円に対して、所得からの支出が 3,678 億円となっている。地域経済循環率は 82.8% となり、4 類型の中では「ベッドタウン」の特徴を示している。生産では 3,047 億円の付加価値を創出し、分配で地域外からの所得が 631 億円流入し、746 億円地区外へ流出している構図となっている。

2. 人口マップ（人口構成）

- ・市内の人口推移



【市内の人口推移】

総人口は 2020 年頃をピークに、生産年齢人口は 2025 年をピークに減少し、老年人口は 20215 年以降はわずかに増加しつつあることがわかる。

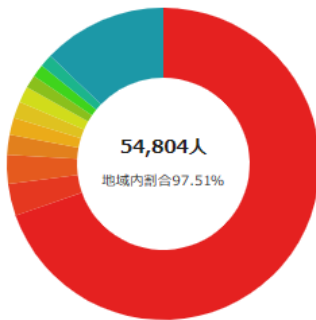
3. まちづくりマップ（from-to 分析）

From-to 分析は、全国各地から北名古屋市を訪れる人口を把握することができる。地域別、平日・休日別、性別、年代別に分析を行うことができることから、地域外からの通貨獲得を行う事業者にとって、ターゲットの維持または拡大について検討する際の参考指標とする。

①昼間人口および夜間人口について

・北名古屋市滞在人口（2023年6月；平日14時）

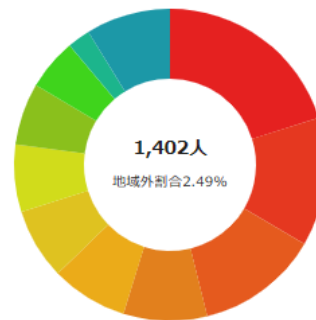
滞在人口/都道府県内



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 愛知県北名古屋市 38,147人 (69.61%)
- 2位 愛知県一宮市 1,828人 (3.34%)
- 3位 愛知県名古屋市区 1,635人 (2.98%)
- 4位 愛知県清須市 1,140人 (2.08%)
- 5位 愛知県岩倉市 968人 (1.77%)
- 6位 愛知県稲沢市 951人 (1.74%)
- 7位 愛知県春日井市 905人 (1.65%)
- 8位 愛知県名古屋市区北 751人 (1.37%)
- 9位 愛知県小牧市 722人 (1.32%)
- 10位 愛知県江南市 717人 (1.31%)
- その他 7,040人 (12.85%)

滞在人口/都道府県外

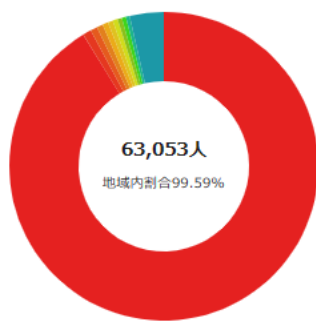


滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 岐阜県岐阜市 282人 (20.11%)
- 2位 岐阜県可児市 187人 (13.34%)
- 3位 岐阜県各務原市 178人 (12.70%)
- 4位 三重県四日市市 122人 (8.70%)
- 5位 三重県桑名市 111人 (7.92%)
- 6位 岐阜県多治見市 103人 (7.35%)
- 7位 岐阜県羽島市 98人 (6.99%)
- 8位 三重県鈴鹿市 90人 (6.42%)
- 9位 岐阜県大垣市 75人 (5.35%)
- 10位 岐阜県美濃加茂市 33人 (2.35%)
- その他 123人 (8.77%)

・北名古屋市滞在人口（2023年6月；平日20時）

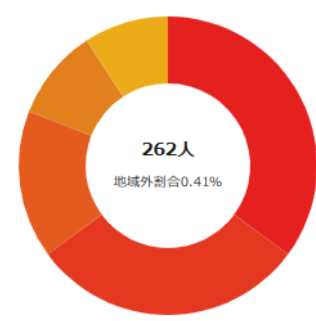
滞在人口/都道府県内



滞在人口/都道府県内ランキング 上位10件

- 1位 愛知県北名古屋市 57,555人 (91.28%)
- 2位 愛知県名古屋市区西 547人 (0.87%)
- 3位 愛知県一宮市 461人 (0.73%)
- 4位 愛知県清須市 404人 (0.64%)
- 5位 愛知県岩倉市 373人 (0.59%)
- 6位 愛知県春日井市 332人 (0.53%)
- 7位 愛知県稲沢市 326人 (0.52%)
- 8位 愛知県名古屋市区北 287人 (0.46%)
- 9位 愛知県小牧市 274人 (0.43%)
- 10位 愛知県江南市 252人 (0.40%)
- その他 2,242人 (3.56%)

滞在人口/都道府県外



滞在人口/都道府県外ランキング 上位10件

- 1位 岐阜県岐阜市 92人 (35.11%)
- 2位 岐阜県各務原市 78人 (29.77%)
- 3位 岐阜県可児市 42人 (16.03%)
- 4位 三重県四日市市 26人 (9.92%)
- 5位 岐阜県大垣市 24人 (9.16%)

【出典】
株式会社NTTドコモ・株式会社ドコモ・インサイトマーケティング「モバイル空間統計®」
総務省「国勢調査」

【市内の昼間および夜間人口の推移】

昼間人口（54,804人）が夜間人口（63,053人）を下回っており、域内の住民が通勤、通学のために域外に出ている状況である。域外から域内への流入元地域は、一宮市、名古屋市西区、清須市等が上位になっている。一方、域内から域外への流出先地域は名古屋市、一宮市、清須市等が上位となっている。県外から地内流入は14時1,402人（2.5%）、20時262人（0.4%）となっている。このことから、市内に通勤、通学する来訪者が非常に少ないと想定される。

4. 産業構造マップ

①全産業の構造



北名古屋市の2016年の全産業企業数は2,273社で卸売業・小売業が439社、製造業412社、建設業311社、宿泊業・飲食サービス業245社、生活関連サービス業・娯楽業184社、不動産業・物品賃貸業162社、サービス業155社、医療・福祉144社などの構造となっている。卸売業・小売業や製造業、建設業、飲食サービスの企業が多くあるものの、均等にバランスが取れた産業構造となっている。

②事業所数の構造と推移



【出典】
総務省「経済センサス-基礎調査」、経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

北名古屋市の2016年の事業所数は3,313事業所で飲食店305事業所、その他小売業190事業所、洗濯・理容・美容業185事業所、不動産賃貸・管理業150事業所、医療業134事業所、職別工事業133事業所、機械器具小売業123事業所、飲食料品小売業119事業所などの構造となっている。

飲食店や小売業、生活関連サービス業など地域住民の生活を支える事業所が多いことがわかる。

事業所数は2009年の3,472件から2012年3,181件に減少し、2014年3,233件、2016年3,131件と下降傾向である

③従業者の構造と推移



【出典】
 総務省「経済センサス-基礎調査」、総務省・経済産業省「経済センサス-活動調査」再編加工

北名古屋市の2016年の企業全体の従業者数は32,229人でその他の事業サービス業2,690人、道路貨物運送業2,465人、飲食店2,136人、医療業1,836人、その他小売業1,367人、飲食料品小売業1,325人、社会福祉・介護事業1,306人が主な構造となっている。

その他の事業サービス業や道路貨物運送業、飲食店、医療業、生活関連の小売業の従業者が高いことがわかる。

従業者数は2009年32,765人、2014年33,143人と年度によって増減あるものの、横ばいで推移している。

④付加価値額の構造



北名古屋市の2016年の企業全体の付加価値額は89,079百万円でその他事業サービス業7,109百万円、医療業6,681百万円、設備工事業5,428百万円、飲食店4,528百万円、輸送用機械器具製造業4,460百万円が上位5位となっている。全体的にバランスがとれた構造で生活関連や自動車関係の企業の付加価値額が高くなっていることがわかる。

【産業構造のマップ】

	1位	2位	3位	4位	5位
事業所数	飲食店	その他小売業	洗濯・理容・美容業	不動産賃貸・管理業	医療業
従業者数	その他事業のサービス業	道路貨物運送業	飲食店	医療業	その他小売業
付加価値額	その他事業のサービス業	医療業	設備工事業	飲食店	輸送用機械器具製造業

北名古屋市の産業構造のマップの特徴は飲食店が事業所数や従業者数、付加価値額とも上位となり、その他事業のサービス業や小売業、医療業などの生活を支える事業所が上位を占めている。